



取扱説明書

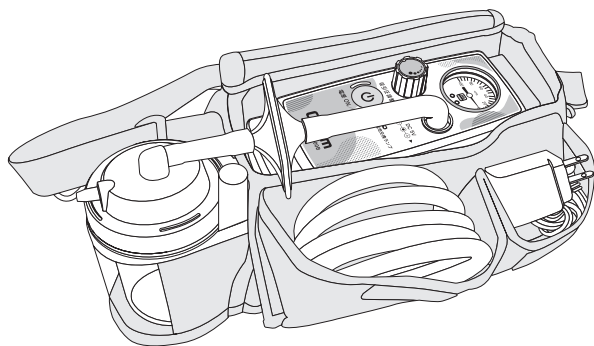
機械器具32 医療用吸引器 管理医療機器
電動式可搬型吸引器 (36616030)

医療機器認証番号
228AHBZX00011000

Qtum

キュータム

型式:QT-500B



目次



安全上のご注意	1
製品の構成	5
各部の名称	6
製品の特徴	8
使用目的又は効果	8
使用手順	8
お手入れ方法	11
保守点検に関する事項	17
故障かなと思ったとき	18
仕様	19
保証・サービスについて	20
修理を依頼されるときのご注意	20
本製品の廃棄方法	20
別売品のご案内	21
EMC仕様	23

- このたびは日東工器製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に安全上のご注意を必ずお読みください。
- 保証に関する案内もありますので、取扱説明書は大切に保管ください。





安全上のご注意









ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
ここに示した注意事項はお使いになる人やほかの人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
この取扱説明書に表示してあるマークの意味を十分に理解の上、本文を読んでください。

(1) 危害・損害の程度

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される場合。

(2) 絵表示

禁 止		禁止 を表します
		水場での使用禁止 を表します
		分解禁止 を表します
		ぬれ手禁止 を表します
強 制		必ずしていただきたいこと を表します
		電源プラグを電源コンセントから抜く を表します

	交流 を表します
	直流 を表します
	ACアダプタは 屋内専用です。
	クラスⅡ（電撃に対する保護 の形式）を表します。
	直流プラグまたは ジャックの極性を表します。
	無段階に調整できる調整 を表します。
	B形装着部 を表します。
	本製品は医用電気機器の 電磁妨害に関する規格「JIS T 0601-1-2：2018」に適合し ています。 ただし、他の医療機器、電子機 器との併用において、相互に影 響を生じる場合があります。 本書および添付文書に従って、 正しい取り扱いをしてください。

(3) 安全にお使いいただくために

本製品の故障や不具合によりご使用いただけない場合に備え、念のため、本製品とは別に、手動式、足踏み式吸引器などの代替の吸引手段を、常に（特に長時間外出のご携行など）お手元に置いていただきますようお願いします。







(4) 吸引物の粘稠度について

吸引物の粘稠度によっては、吸引に時間がかかる、十分な吸引ができない場合がありますので、本製品の操作は、医師、または医療従事者の指導に従ってください。

(5) 電池でのご使用について

電池ボックス使用時においては、電池の種類や特性、メーカーの違いなどにより、供給電圧が若干異なるので僅かな性能差が生じます。

電池での運転時間の経過により電圧が降下することで、流量が低下します。

	 警告
	<ul style="list-style-type: none">● 採血用に使用しないでください。● 口腔内、鼻腔内、および気道の吸引以外の目的には使用しないでください。● 化学薬品の保管場所や可燃性麻酔剤等の活性ガスが発生する場所で使用しないでください。火災、爆発の恐れがあります。
	本体や電池ボックス、ACアダプタは防水構造ではありません。水をかけたり、水に浸したりしないでください。
	いかなる場合も、本製品の改造、分解、修理は絶対にしないでください。事故の原因になります。
	本製品の操作は医師、または医療従事者の指導に従ってください。誤った使用方法により、気道を傷つけるなど、人体に深刻な影響を及ぼす恐れがあります。
	本製品に異常を感じた場合は直ちに電源を切り、DCプラグを本体から抜き、ACアダプタを使用しているときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意



- 専用の別売品以外使用しないでください。本製品が正常に作動しない恐れがあります。
- 本製品に強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。圧力計の針がずれて正しい表示がされなくなります。その場合は使用を中止し、お求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- 吸引ボトル内に陰圧が残っている状態で運転を開始させないでください。過負荷保護機能が働き作動できません。過負荷保護機能については10ページをご確認ください。
- 子供だけで使用させたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。事故につながる可能性があります。
- 30分以上の連続運転はしないでください。故障の原因になります。



使用前の注意

- 本製品は周囲温度0から40℃、相対湿度30から75%の環境で使用してください。正常に作動せずに、事故につながる可能性があります。
- ご購入後、初めてお使いになるときや、長期間使用しなかった場合は、11～16ページを参考にして使用前に洗浄・消毒を行なってください。
- 使用前に使用手順に従った作動確認を行い、必ず本体が正常かつ安全に作動することを確認してください。異常がある場合は使用を中止し、お求めの販売店に点検・修理を依頼してください。事故につながる可能性があります。
- 使用前に圧力計が0を指していることを確認してください。異常がある場合は使用を中止し、お求めの販売店に点検・修理を依頼してください。事故につながる可能性があります。
- 長期間使用しなかった場合は、点検に出すなど、作動上の安全を確認してから使用してください。事故につながる可能性があります。
- 吸引ボトルのキャップにはパッキン、フロートバルブ、フロートを必ず取り付けて使用してください。また、吸引ボトルのフロートは上下に自由に動くことを確認してください。吸引物が一杯になったときや吸引ボトルが倒れたときにあふれ、こぼれが防止できません。
- 吸引ボトルやフィルタ等の消耗品はこまめにチェックし、交換してください。正常に作動せずに、事故につながる可能性があります。
- 本体と吸引ボトルは専用のキャリングバッグに入れて使用してください。吸引ボトルが転倒する原因になります。

使用中の注意

- 吸引ボトル内に吸引物が一杯にならないよう常に監視してください。吸引物がオーバーフローして本体内に流入した場合、本体内部のレギュレータやポンプの故障を引き起こす原因になります。
- 吸引圧を変更する場合は、圧力計を見ながら徐々に調整してください。事故につながる可能性があります。

使用後の注意

- 使用後は吸引ボトル内、吸引ホース、排気力バーの洗浄・消毒を行なってください。感染の恐れがあります。

⚠ 注意

お手入れについて



- エチレンオキシドガス（EOG）滅菌をしないでください。エアレーションが不十分な場合、残留・残存したエチレンオキシドガスにより、人体に悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 本体をベンジンやシンナーなど揮発性の薬品で拭かないでください。故障の原因になります。



- お手入れの際は、必ず本体から DC プラグを抜いてください。感電の原因になります。
- 吸引ボトル、吸引ホースの洗浄は、ぬるま湯（40℃程度）か薄めた中性洗剤で行ってください。
- 洗浄時の吸引においても、吸引ボトル内が一杯にならないよう常に監視してください。
- 吸引ボトル、吸引ホースの消毒は、16 ページに示す、各材質にあった消毒薬をご使用ください。
- 消毒の際は、消毒薬の用法、用量を守り正しくお使いください。
- 消毒の前に必ず 11 ～ 15 ページを参考に洗浄を行ってください。
- 洗浄・消毒した部品は、十分に水洗いをし、速やかに乾燥させた上、清潔な場所に保管してください。乾燥が十分でないと、雑菌が繁殖し感染の原因になります。

電源について



- 電源コード、電源プラグを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。感電・火災・故障の原因になります。
- 電池ボックスを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。感電・火災・故障の原因になります。
- 異なる種類の電池で使用しないでください。液漏れ・破裂の原因になります。
- 使えなくなった電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。液漏れの原因になります。
- 電池交換ランプが点滅・点灯した状態で使用し続けしないでください。故障の原因になります。

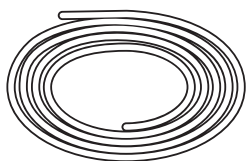
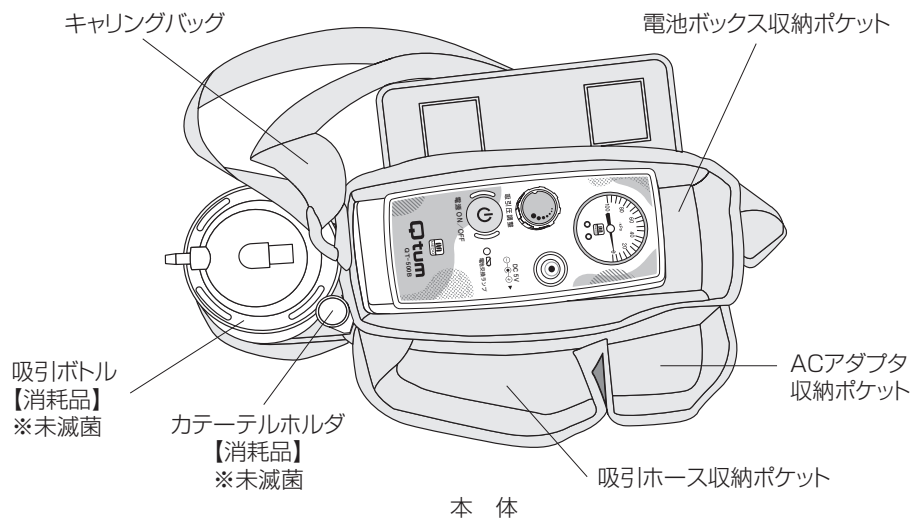


ぬれた手で AC アダプタを抜き差ししたり、触ったりしないでください。感電の原因になります。

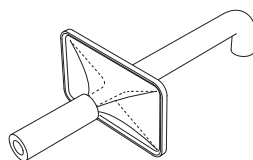


- 必ず専用の電池ボックスまたは AC アダプタを使用してください。火災や故障の原因になります。
- 本製品は停止状態でも微小な電流が流れているため、使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。電池ボックスを使用している場合は、DC プラグを本体から抜いてください。
- DC プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず DC プラグを持って引き抜いてください。故障の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず AC アダプタ本体を持って引き抜いてください。故障の原因になります。
- 長時間使用しないときは電池ボックスから電池を抜いてください。液漏れの原因になります。
- 電池交換ランプが点滅・点灯したら、直ちに電池を交換してください。十分な吸引力が発揮されません。
- 電池は市販の単三形アルカリ乾電池または充電式電池を使用してください。
- 電池の+と-の向きを正しく入れてください。液漏れ・発熱・破裂の原因になります。
- 使えなくなった電池はすぐに取り出してください。液漏れの原因になります。
- 電池の注意書きを良くお読みください。

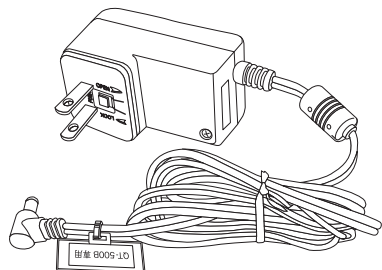
製品の構成



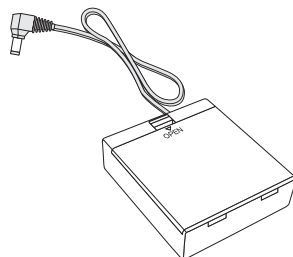
吸引ホース(長さ1.5m×2本) 【消耗品】※未滅菌



ホース付フィルタ【消耗品】



ACアダプタ



電池ボックス
※電池は付属していません

⚠ 注意



ACアダプタはQT-500B専用品(白色)を使用してください。故障の原因になります。

※カテーテルは医師または医療従事者の指導のもと、適した市販品をご使用ください。

※カテーテルの種類・サイズによって吸引力に差が生じます。

各部の名称

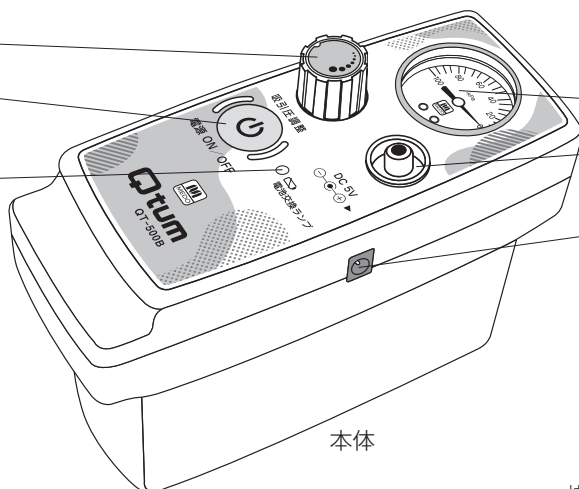
吸引圧調整ツマミ

電源入／切ボタン

電池交換ランプ

(電池交換の時期をお知らせします。)

※ランプ点滅・点灯が電池交換の時期です。

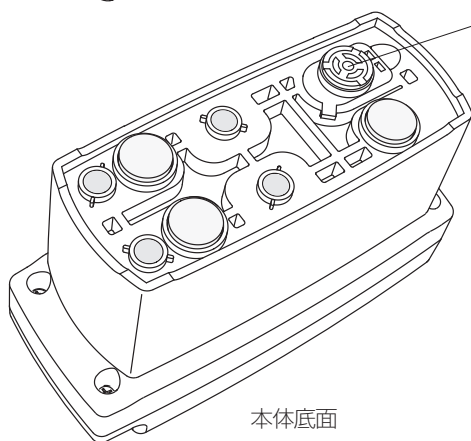


圧力計

ホース付フィルタ
接続口

DCジャック

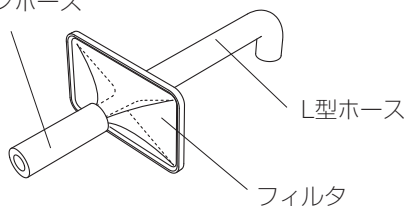
本体



排気カバー

本体底面

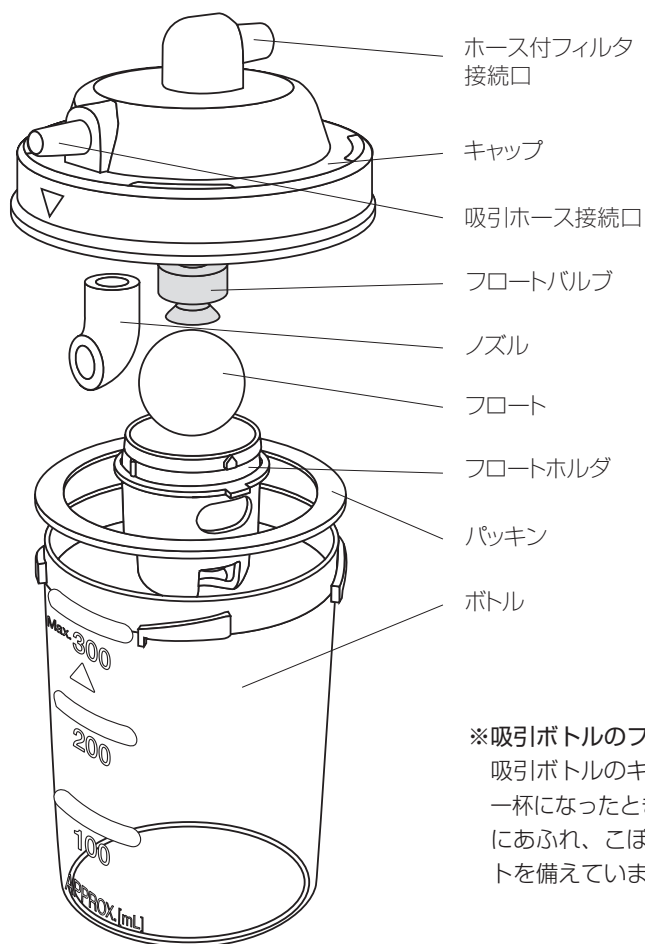
シリコンホース



L型ホース

フィルタ

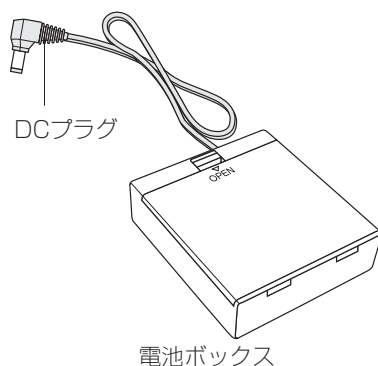
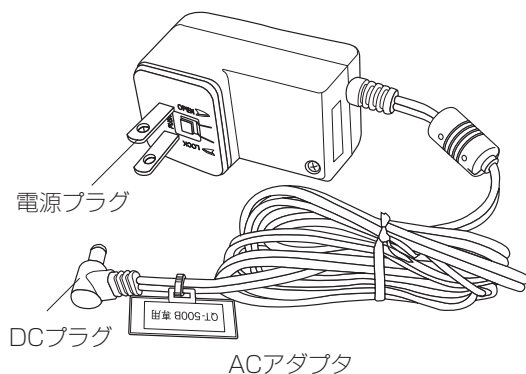
ホース付フィルタ



吸引ボトル

※吸引ボトルのフロートについて

吸引ボトルのキャップは運転中に吸引物が一杯になったときや吸引ボトルが倒れたときにあふれ、こぼれを防止するためのフロートを備えています。



製品の特徴

- 軽量、コンパクトで専用のキャリングバッグにより、携帯性に優れています。
- 電池、ACアダプタで使用できます。
- 圧力調整にレギュレータ方式を採用し、吸引圧の立ち上がりが緩やかです。
- 吸引ボトルには運転中に吸引物が一杯になったときや、倒れたときにあふれ、こぼれを防止する機能を備えています。
- 電源入/切ボタンは蓄光式のため、照明などの光にあてておくと暗闇で光ります。

使用目的又は効果

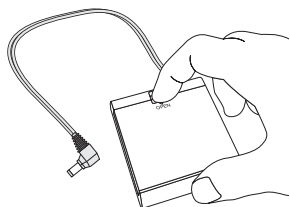
本製品はポンプにより陰圧を発生させ、口腔内、鼻腔内および気道に溜まった分泌物を自力で排出することが困難な患者の、口腔内、鼻腔内および気道内の分泌物の吸引を行う装置です。

使用手順

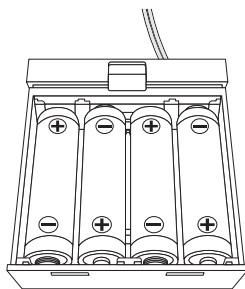
使用前の準備

電池ボックスの準備

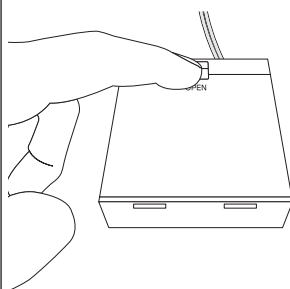
1. 電池ボックスの蓋を取り外します。



2. 単3形電池4本を電池ボックスの表示の向きに合わせて入れます。



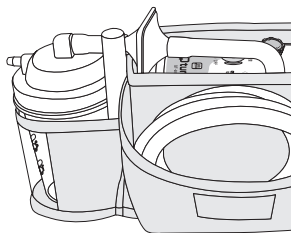
3. 電池ボックスの蓋を取り付けます。



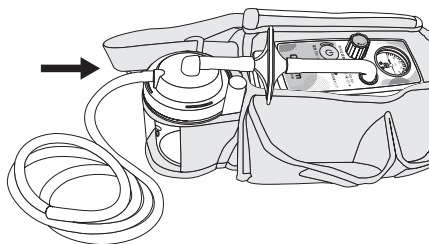
※電池は付属していません。

本体の準備

1. 本体を水平で安定した場所に置き、本体と吸引ボトルをホース付フィルタで接続します。



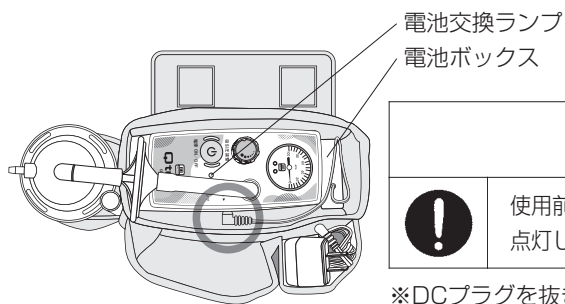
2. 吸引ボトルに吸引ホースを接続します。



3. 本体と電源を接続します。

・ 電池ボックスを使用する場合

電池ボックスのDCプラグを本体のDCジャックに接続します。



⚠ 注意

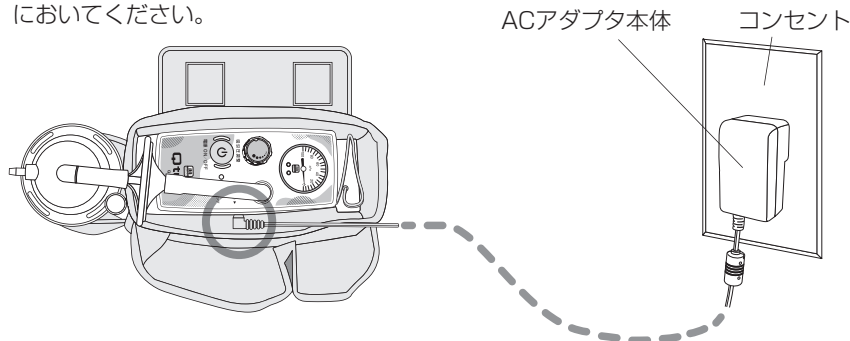


使用前や使用中に電池交換ランプが点滅・点灯した場合は、電池を交換してください。

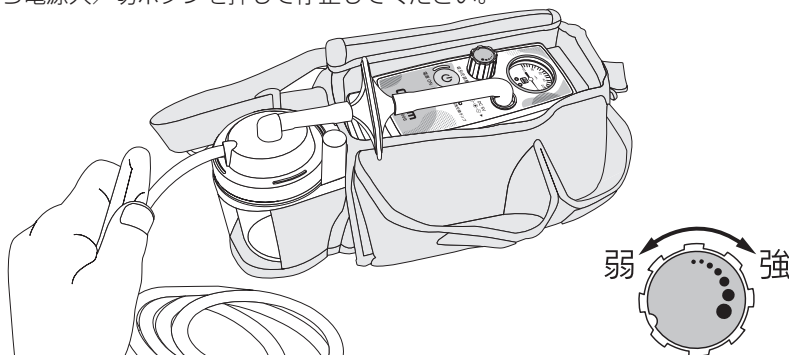
※DCプラグを抜き差しする際に、電池交換ランプが一瞬点灯することがありますがこのときの点灯は電池交換をうながす点灯ではありません。

・ ACアダプタを使用する場合

ACアダプタのDCプラグを本体のDCジャックに接続し、ACアダプタ本体をコンセントに接続します。本体はACアダプタ本体をコンセントから抜く際に邪魔にならない場所においてください。



- 4.電源入／切ボタンを押すと、ポンプが始動します。空気が漏れないように吸引ホースの吸引口を指で塞ぐか、吸引ホースを折り曲げた状態で、吸引圧調整ツマミを右回りに閉め切ったときに圧力計が-40kPa以上を指すことを確認してください。次に吸引圧調整つまみを左回りに開き切ったときに圧力計が0を指すことを確認してください。確認が終了したら電源入／切ボタンを押して停止してください。



操作方法

- 1.「使用前の準備」の手順に従って、本体の準備を行ってください。
- 2.電源入／切ボタンを押してください。
- 3.吸引ホースまたは吸引カテーテルを空気が漏れないように折り曲げ、吸引圧調整ツマミを回して圧力計を見ながら患者に必要な圧力に調整してください。
- 4.吸引ホースまたは吸引カテーテルをまっすぐに戻した後、吸引を始めてください。
- 5.使用後は電源入／切ボタンを押して停止させてください。本製品は停止状態でも微少な電流が流れているため、使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。電池ボックスを使用している場合は、DCプラグを本体から抜いてください。

⚠注意

	吸引ホースで直接口腔内を吸引しないでください。
	使用前や使用中に電池交換ランプが点滅・点灯した場合は、電池を交換してください。

過負荷保護機能について

本製品は、ポンプに急激な負荷がかかった場合、過負荷保護機能により電源が遮断されます。

例：吸引ボトル内に陰圧が残っている状態で運転を開始させたとき

＜対処方法＞

- ①本体からDCプラグを抜く。
- ②本体のホース付フィルタ接続口のホースを一度抜き、吸引ボトル内の陰圧を開放する。
- ③圧力計が0になった事を確認し、DCプラグ、ホースを接続しなおす。
- ④運転を再開する。

* 以上の方法で対処しても正常運転しない場合は、点検を依頼してください。

お手入れ方法

⚠注意



お手入れを行う際は、必ず本体からDCプラグを抜いてください。

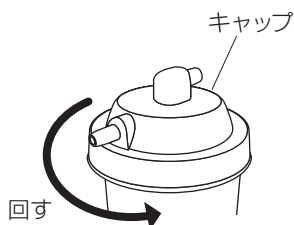
●吸引ボトルの分解と清掃方法

1. 吸引ボトルから、ホース付フィルタと吸引ホースを取り外します。

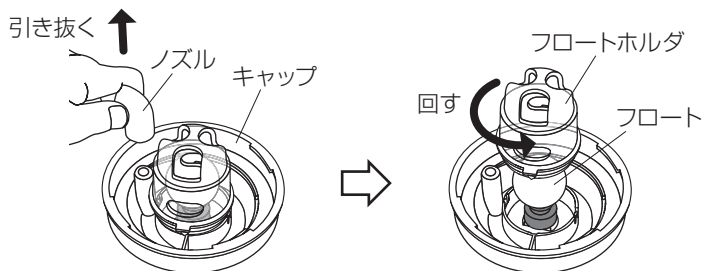
ホース付フィルタ



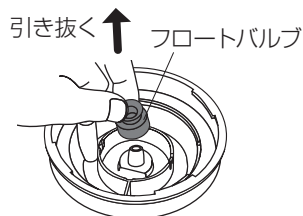
2. 吸引ボトルのキャップを取り外します。



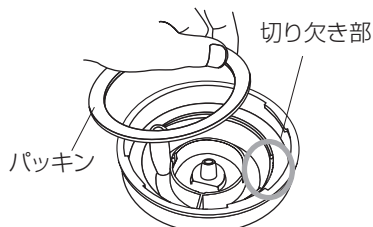
3. キャップから、ノズル、フロートホルダ、フロートを取り外します。



4. キャップから、フロートバルブを取り外します。

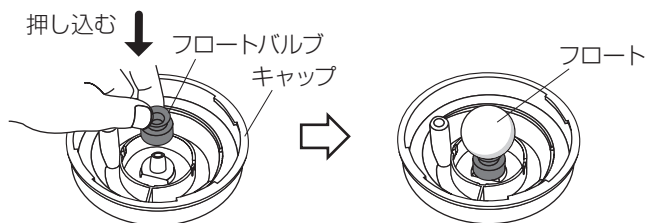


5. キャップの切り欠き部から、パッキンをつまんで取り外します。

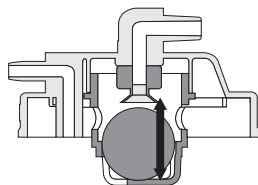
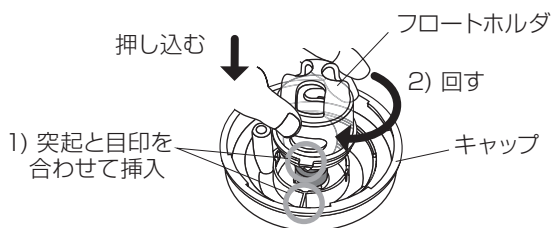


●フロートホルダの取り付け方法

1. キャップにフロートバルブを奥までしっかりと取り付け、その上にフロートを置きます。

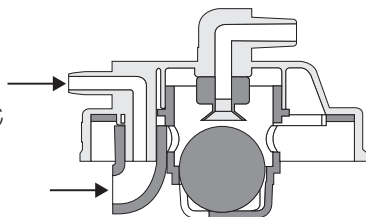


2. 突起と目印を合わせて押し込み、フロートホルダを取り付けます。
フロートがフロートホルダの中で上下に自由に動くことを確認してください。



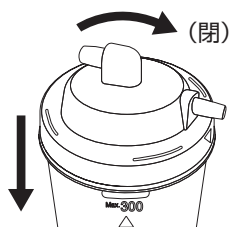
※パッキン、ノズルの取り付けは分解と逆の手順で行ってください。

※ノズルは吸引ホース接続口の向きと同じ向きに取り付けてください。

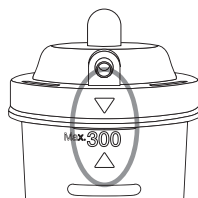


●吸引ボトルのキャップの閉め方について

1. ボトルへキャップを取り付けて右に回してください。



2. キャップとボトルの三角の印が合うまで回してください。



※印を合わせずに閉めると、キャリングバッグに収納した際に、目盛りが見えづらくなります。

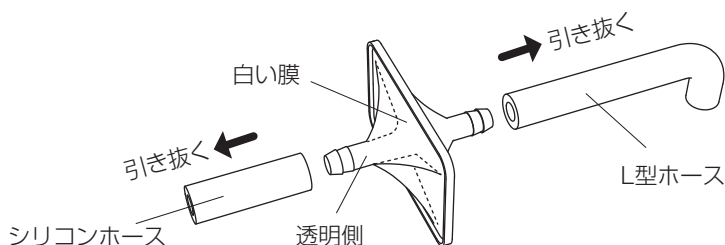
●ホース付フィルタの取り扱いについて

ホース付フィルタのフィルタは消耗品です。内部の洗浄、消毒はできません。
フィルタ内部の白い膜を確認いただき、次の場合には新しいものと交換してください。

- ・汚れた場合
- ・目詰まりした場合
- ・破れた場合
- ・濡れた場合

●フィルタの交換方法

ホース付フィルタからシリコンホースとL型ホースを取り外し、新しいフィルタと交換してください。再組立の際はシリコンホースをフィルタの透明側に付けてください。

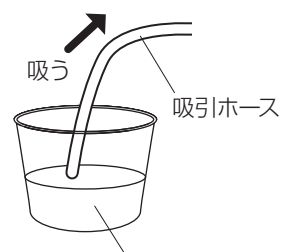


●吸引ホースの洗浄・消毒

【内側】

ぬるま湯（40℃程度）か薄めた中性洗剤を吸引し、内部を洗浄してください。

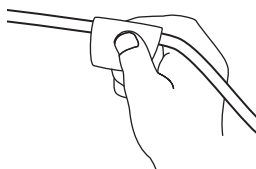
	⚠ 注意
	次亜塩素酸ナトリウム溶液を吸引した消毒は絶対に行わないでください。故障の原因になります。



ぬるま湯か薄めた中性洗剤

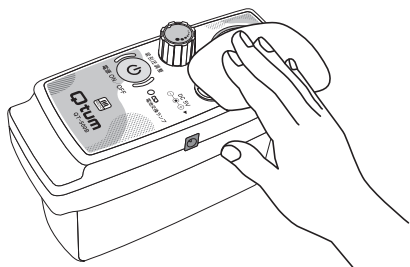
【外側】

薄めた中性洗剤か次亜塩素酸ナトリウム溶液を脱脂綿などに含ませ、拭き取ってください。



●本体の清掃方法

本体表面はぬるま湯か薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いてください。
※水洗い、ベンジン、シンナーなどの使用は絶対にしないでください。



●排気カバーの取り外し方法

排気カバーは指でつまんで取り外してください。
排気カバーは使用後に洗浄・消毒を行ってください。
洗浄・消毒後は元通り取り付けてください。

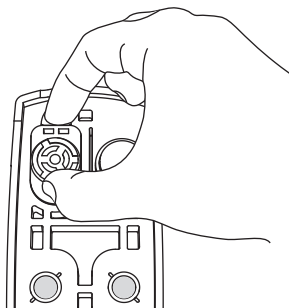
※排気カバー内に水が溜まる場合があります。

吸引時に吸い込んだ空気中の水分が温度差により
結露したもので、異常な現象ではありません。

特に次の条件では結露しやすいです。

- ・梅雨の時期や雨の日などで湿度が高い
- ・ご使用の環境温度が低い
- ・加湿器を使用した室内で使用する

使用後に排気カバー内を確認し、水が溜まっている場合は捨ててください。

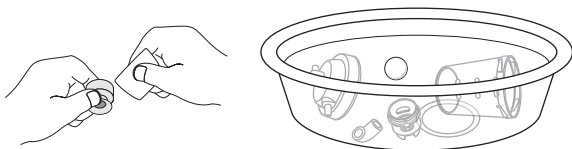


構成部品材質一覧

部 品 名		材 質
本体	外郭	ABS (アクリロニトリルブタジエンスチレン共重合体)
	排気カバー	SI (シリコン)
吸引ボトル	キャップ	PE (ポリエチレン)
	パッキン	SI (シリコン)
	フロートバルブ	SI (シリコン)
	フロート	PP (ポリプロピレン)
	フロートホルダ	PC (ポリカーボネート)
	ボトル	PC (ポリカーボネート)
	ノズル	SI (シリコン)
ホース付フィルタ	ホース	SI (シリコン)
吸引ホース		SI (シリコン)
カテーテルホルダ		PP (ポリプロピレン)
電池ボックス		ABS+PC (アクリロニトリルブタジエンスチレン 共重合体+ポリカーボネート)

●部品の洗浄

分解した部品は、ぬるま湯（40℃程度）か薄めた中性洗剤を用いて、やわらかいスポンジなどを使いきれいに洗浄し、乾燥させます。

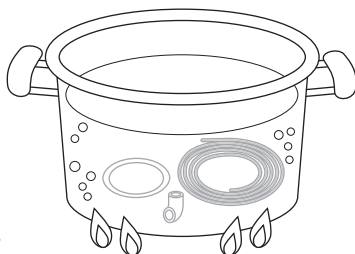


●部品の煮沸消毒

煮沸消毒できる部品は、14ページの「構成部品材質一覧」に記載の材質がシリコン製の部品（吸引ホース、パッキンなど）に限ります。

鍋などの加熱容器に分解した部品を入れます。

完全に浸かるまで水を入れて沸騰させ、15分間煮沸してください。

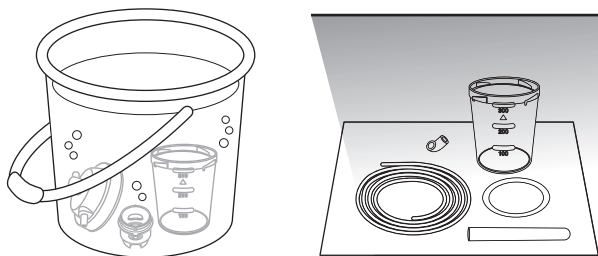


△注意

火傷に注意してください。

●部品の薬液消毒

1. 十分な深さの容器に、部品が完全に浸かるまで消毒液溶液を入れます。
この時、部品内に空気が残らないようご注意ください。（特にホースなど）
2. 消毒液が残らないよう、流水で十分にすすいください。
3. 直射日光を避け、陰干しで十分に乾かしてください。








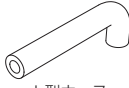






※消毒前に洗浄を行ってください。洗浄が不十分だと十分な消毒効果が得られません。

※各部品の材質に適した消毒方法・消毒液を選択してください。（次ページ参照）

※各種消毒液による浸漬消毒は、希釈濃度等、消毒液付属の添付文書の用法・用量を守り、正しくお使いください。

●消毒方法対応一覧

○：使用可能 △：使用可能（変色等、外観に若干影響あり） ×：使用不可

消毒方法 部 品		煮 沸	アルコール	次亜塩素酸 ナトリウム	グルコン酸 クロル ヘキシジン	塩化ベンザル コニウム	アルキルジ アミノエチル グリシン塩酸塩
代表的な 商品名		—	消毒用 エタノール	ミルトン	ヒビテン液	オスバン液	テゴー51
 吸引ホース	 ノズル	○	○	○	○	○	○
 パッキン	 フロートバルブ						
 シリコンホース	 L型ホース						
 排気カバー							
 フロート	 カテーターホルダ	×	○	○	○	○	○
 フロートホルダ	 ボトル	×	△	○	△	△	×
 キャップ		×	△	○	○	○	×

保守点検に関する事項

使用前に、必ず本製品が正常かつ安全に作動することの確認を行ってください。

以下のチェックリストの点検を必ず行ってください。異常がある場合には、お求めの販売店に点検・修理を依頼してください。本製品の点検・修理は本体のみの対応となります。なお、感染予防のため、血液・体液が付着しているものや、感染症患者に使用または、感染症により汚染された製品の修理・廃棄依頼はお受けできませんので、ご了承ください。

点検チェックリスト

点検項目	点 検 内 容
本体	<ul style="list-style-type: none">・ 外観にキズ、割れ、ヒビがないこと。・ 「使用手順」に従い運転の入／切ができること。・ 騒音、振動、発熱に異常がないこと。・ 運転停止状態で圧力計の針が0を指していること。・ 「使用手順」に従い圧力調整をする際、吸引圧調整ツマミを閉め切ったときに圧力計が-40kPa以上を指すこと。・ 排気カバーが取り付けられていること。
ホース付フィルタ、吸引ホース	<ul style="list-style-type: none">・ ホースに裂け、キズがなく、確実に接続可能なこと。・ フィルタに目詰まり、汚れ、濡れ、及び破れがないこと。
キャップ、ボトル	<ul style="list-style-type: none">・ キズ、割れ、ヒビがないこと。
フロートバルブ	<ul style="list-style-type: none">・ キズ、破れ、切れがないこと。・ キャップに確実に固定できること。
パッキン	<ul style="list-style-type: none">・ キズ、破れ、切れがないこと。
フロート	<ul style="list-style-type: none">・ キズ、割れ、ヒビ、つぶれがないこと。・ フロートホルダ内で上下に自由に動くこと。
フロートホルダ	<ul style="list-style-type: none">・ キズ、割れ、ヒビがないこと。・ キャップに確実に固定できること。
電池ボックス、ACアダプタ	<ul style="list-style-type: none">・ 外観にキズ、割れ、ヒビがないこと。・ プラグの変形、コードの断線がないこと。

故障かなと思ったとき

状 態	原 因	処 置
電源入／切ボタンを押してもポンプが作動しない。	電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか。	電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
	DCプラグがDCジャックから抜けていませんか。	DCプラグをDCジャックに接続してください。
	電池が間違った方向で入っていませんか。	電池を正しく入れなおしてください。
	使えなくなった電池ではありませんか。	新しい電池と交換します。
	吸引ボトル内が陰圧になっていませんか。	本体のホース付フィルタ接続口のホースを一度抜いて吸引ボトル内の陰圧を開放し、圧力計が0になった事を確認してからDCプラグ、ホースを接続しなおしてください。
ポンプは作動するが吸引できない。	ホースの接続が不完全ではありませんか。	ホースを確実に接続してください。
	ホースに裂け、穴開きがありませんか。	新しいホースと交換してください。
	吸引ホースが折れていたり、重いものが載ったりしていませんか。	折れをなくし、重いものを取り除いてください。
	吸引ボトルのパッキンを入れ忘れていませんか。	パッキンを入れてください。
	吸引圧調整ツマミが全開になっていませんか。	使用手順に従い圧力を調整してください。
	パッキン、キャップ、ボトルが破損していませんか。	交換してください。
	フィルタは汚れたり、濡れたり、目詰まりしていませんか。	交換してください。

上表の点検後もなお異常がある場合には、直ちに使用を中止し、お求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

仕様

類別			機械器具32 医療用吸引器 管理医療機器
一般的名称			電動式可搬型吸引器 (36616030)
医療機器認証番号			228AHBZX00011000
電撃に対する保護の形式			内部電源機器／クラスⅡ
電撃に対する保護の程度			B形装着部
装着部			吸引ホース、吸引ボトル
電源	電池ボックス	電圧	DC6V (単三形電池4本)
	ACアダプタ	入力	AC100V、50／60Hz
		出力	DC5V、3.30A
消費電流			2.3A
最大吸引圧力			-66.6kPa (-500mmHg) * 1
吸引圧調整			機械式
排気流量			7.5L／min * 1
吸引ボトル容量			約300mL
定格時間			動作30分／休止30分
電池運転時間 (目安) * 2			約12分 (アルカリ乾電池)、約55分 (充電式電池)
使用環境温度			0～40℃
使用環境湿度			30～75% (結露なきこと)
輸送・保管環境温度			-10～60℃
輸送・保管環境湿度			10～95% (結露なきこと)
気圧			70～106kPa
外形寸法 (縦×横×高さ)			約300mm×125mm×175mm
本体質量			約1.2kg

* 1. 上記性能には自社規格による公差があります。また、上記性能は出荷時 (20℃環境) のものであり、ご使用の期間・頻度等により性能は低下してきます。長期間使用された製品や低温環境での最大吸引圧力は、-40kPaとなります。性能を維持し、安全にお使いいただくために、使用前点検および保守点検を行ってください。

* 2. 電池運転時間は、新品の電池または満充電の電池、ポンプ無負荷状態のものです。十分な吸引力を必要とする場合には、表記時間より短い作動時間となります。

保証・サービスについて

弊社ホームページよりご愛用者保証登録をお願いします。(詳しくは裏表紙に記載してあります。)
当社の保証登録台帳に登録されます。

保証期間はお買い上げの日から1年間。取扱説明書の注意事項に従った、お客様の『正常な使用状態』で万一故障が起きた場合には、無料で修理させていただきます。(但し、消耗品は除きます。)

※補修用性能部品の保有期間 **6年**

当社は、本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときのご注意

1. 修理対象

修理が行えるのは本体のみで、本体以外のボトル、吸引ホース等の修理は行いません。

不具合原因が本体以外の場合は、その部品の交換となります。

2. 送付梱包時のお願い

本体および付属品は、必ず、洗浄・乾燥をした上、二重のビニール袋に入れ、箱に梱包してください。

なお、送付の梱包箱に「キュータム修理品」と明記してください。

※洗浄されていない場合は、衛生上、当社で廃棄し新品を購入していただく場合がありますので、ご了承ください。

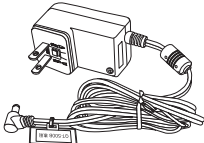
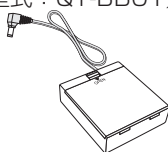
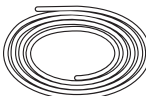

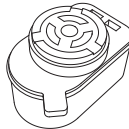

本製品の廃棄方法

寿命の終わった本製品の廃棄に関しては、地域で定める条例に従って廃棄してください。

分別のため本体を分解する場合は、けがをしないように保護具を装着のうえ行ってください。

別売品のご案内

<p>吸引ボトル (型式：QT-SBA01) 【消耗品】 ※未滅菌</p>  <p>(キャップ、パッキン、フロートバルブ、フロート、フロートホルダ、ボトル、ノズルのセット)</p>	<p>キャップ (型式：QT-CAP01) 【消耗品】 ※未滅菌</p>  <p>パッキン (型式：QT-PK01) 【消耗品】 ※未滅菌</p>  <p>フロートバルブ (型式：QT-FV01) 【消耗品】 ※未滅菌</p> 	<p>フロート (型式：QT-FL01) 【消耗品】 ※未滅菌</p>  <p>フロートホルダ (型式：QT-FH01) 【消耗品】 ※未滅菌</p>  <p>ノズル (型式：QT-NZ01) 【消耗品】 ※未滅菌</p> 
<p>ボトル 【消耗品】 (型式：QT-SB01) ※未滅菌</p> 	<p>ホース付フィルタ (型式：QT-FIO1) 【消耗品】 ※未滅菌</p>  <p>フィルタ (型式：QT-FIO2) 【消耗品】 ※未滅菌</p> 	<p>シリコンホース 【消耗品】 (型式：QT-SIO1) ※未滅菌</p>  <p>L型ホース 【消耗品】 (型式：QT-LH01) ※未滅菌</p> 

<p>ACアダプタ (型式：QT-PS02)</p> 	<p>電池ボックス (型式：QT-BB01)</p>  <p>※電池は付属していません</p>	<p>吸引ホース (型式：QT-H01) 【消耗品】 ※未滅菌</p>  <p>(長さ1.5m)</p>	<p>カテーテルホルダ (型式：QT-CH01) 【消耗品】 ※未滅菌</p> 
<p>排気カバー (型式：QT-HC01) 【消耗品】 ※未滅菌</p> 	<p>キャリングバッグ (型式：QT-CB01) 【消耗品】</p> 		

●別売品は販売店にお申し込みください。

EMC仕様

本製品は、EMC（電磁両立性）規格JIS T 0601-1-2：2018に適合しています。
EMC規格JIS T 0601-1-2：2018の5.2項において、本製品が安全に機能するためのEMC環境に関する詳細な情報を使用者に提供することが求められているため、EMCに関する技術的な説明を以下に記載します。

※EMC規格は、医用電気機器を安全に使用するため、本製品から発生するノイズが他の機器に影響を及ぼしたり、他の機器（携帯電話・無線LAN等）が発する電磁波から本製品が受ける影響を、一定のレベル以下に抑えるよう規定した規格です。
（詳細は、JIS T 0601-1-2：2018をご参照ください。）

●EMC（電磁両立性）とは

EMC（電磁両立性）とは、次の二つの事項を満たす能力のことです。

- ・ 周辺の他の電子機器に、許容できない障害を与えるようなノイズを出さない。（エミッション）
- ・ 周辺の他の電子機器から出されるノイズ等、使用される場所の電磁環境に耐え、機器の機能を正常に発揮できる。（イミュニティ）

●EMC（電磁両立性）に関する技術的な説明

本製品はEMCに関する特別な注意を必要とし、下記に示すEMC情報にしたがって設置、使用する必要があります。

- ・ 携帯形及び移動形のRF通信機器は、本製品に影響を与えることがあります。
- ・ 本取扱説明書に記載の付属品以外のものの使用により、エミッションの増加またはイミュニティが低下することがあります。
- ・ 本製品は他の機器と近接させたり、積み重ねたりして使用しないでください。
- ・ キュータムは専門の医療施設環境および在宅医療環境にて使用してください。
特殊環境（大きな電磁エネルギーを放出するME機器を用いる医療現場等）では使用しないでください。
- ・ 携帯形RF通信機器（アンテナケーブル及び外部アンテナなどの周辺機器を含む。）を、キュータムのあらゆる部分から30cmよりも近づけないでください。近づけた場合、機器の性能の低下が生じる可能性があります。

表1 指針及び製造業者による宣言 ―電磁エミッション―

キュータムは次に指定した電磁環境内での使用を意図している。	
エミッション試験	適合性
RFエミッション CISPR11	グループ1
RFエミッション CISPR11	クラスB
高周波エミッション IEC61000-3-2	非適用
電圧変動/フリッカエミッション IEC61000-3-3	非適用

表2 指針及び製造業者による宣言 ―電磁イミュニティ―

キュータムは次に指定した電磁環境内での使用を意図している。		
イミュニティ試験	JIS T 0601試験レベル	適合性レベル
静電気放電 (ESD) JISC61000-4-2	±6kV 接触 ±8kV 気中	±6kV 接触 ±8kV 気中
電氣的ファストトラン ジェントバースト JISC61000-4-4	±2kV 電源線用	±2kV 電源線用
雷サージ JISC61000-4-5	±2kV 電源線用 ±1kV 電源線用	±2kV 電源線用 ±1kV 電源線用
電圧ディップ、瞬停及び 電源入力線での電圧変動 JISC61000-4-11	<5%Ut (>95%Utのディップ) 0.5サイクル間 <40%Ut (>60%Utのディップ) 5サイクル間 <70%Ut (>30%Utのディップ) 25サイクル間 <5%Ut (>95%Utのディップ) 5秒間	<5%Ut (>95%Utのディップ) 0.5サイクル間 <40%Ut (>60%Utのディップ) 5サイクル間 <70%Ut (>30%Utのディップ) 25サイクル間 <5%Ut (>95%Utのディップ) 5秒間
電源周波数 (50Hz/60Hz) 磁界 JISC61000-4-8	3A/m	3A/m
備考 Utは検査レベルを加える前の交流電源電圧である。		

表3 指針及び製造業者による宣言 ー電磁イミュニティー

<p>キュータムは次に指定した電磁環境内での使用を意図している。キュータムの顧客又は使用者は、このような電磁環境内で本製品を用いていることを確認することが望ましい。</p>		
イミュニティ試験	JIS T 0601試験レベル	適合性レベル
伝導RF JISC61000-4-6	3Vrms 150kHz～80MHz	3V
放射RF JISC61000-4-3	3V/m 80MHz～2.5GHz	3V/m
<p>注記1：80MHz及び800MHzにおいては、高い周波数範囲を適用する。 注記2：これらの指針は、全ての状況に対して適用するものではない。建物・物・人から吸収及び反射は、電磁波の伝搬に影響する。</p>		
<p>注(a)：例えば、無線(携帯/コードレス)電話及び陸上移動形無線の基地局、アマチュア無線、AM・FMラジオ放送及びTV放送のような固定送信機からの電界強度を、正確に理論的に予測をすることはできない。 固定RF送信機による電磁環境を見積もるためには、電磁界の現地調査を考慮することが望ましい。 キュータムが使用するシールドした場所の外で測定した電界強度が3V/mを超えている場合には、キュータムが正常動作するかを検証するために監視することが望ましい。異常動作を確認した場合には、キュータムの再配置又はより高いRFシールド効果値及びフィルタ減衰量をもったシールドした場所を使用するような追加対策が必要となるかもしれない。</p> <p>(b)：周波数範囲150kHz～80MHzを通して、電界強度は、3V/m未満であることが望ましい。</p>		

<保証規定>

- (1)本製品は厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。取扱説明書の注意に従った、お客様の「正常な使用状態」で本体が万一故障、破損した場合にはお買い上げ日より「1年間を保証期間」とし「無償修理」致します。
- (2)修理は日東工器株式会社でいたしますので保証登録を行った上で依頼ください。
- (3)つぎの場合は保証期間内でも「有償修理」とさせていただきます。
- (イ) 誤った使用法及び不適当な取扱いや改造による故障。
 - (ロ) 転居等による輸送上の故障。
 - (ハ) 火災・地震・水害などの不可抗力及び異常電圧などによる故障。
 - (ニ) 保証登録を行っていない場合。
 - (ホ) 補修部品の交換
- (4)ご転居の場合のアフターサービスについては事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

※本取扱説明書は大切に保存してください。

※本保証登録は保証規定により無償修理をお約束するもので、日東工器株式会社及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

《【重要】保証登録のお願い》

1年間のメーカー保証をお受けいただくために、ご愛用者保証登録をお願いします。

下記手順に従って、必ずご愛用者保証登録を行ってください。

保証登録を行っていない場合、保証による無償修理が受けられない場合がございます。

簡単3ステップ WEB保証登録



《保証登録にご用意いただくもの》

- ・スマートフォンまたはパソコン、有効なメールアドレス
- ・製品の製造番号（左記ラベルに記載の8桁の数字）

※スマートフォンもしくはパソコンをお持ちでない方は、
こちらの番号にお電話ください。

TEL：03-5748-5521

日東工器株式会社 メド事業部

受付時間：午前9時～午後5時（土日祝日を除く）

製造販売元

日東工器株式会社

本社・研究所 〒146-8555 東京都大田区仲池上 2-9-4

Tel:03-3755-1111

ホームページ

www.nitto-kohki.co.jp

●お客様相談窓口（土・日・祝日を除く）

受付時間／AM8:30～PM5:15



フリーコール

0120-210-216

LQ08244-0

(07/2021)